

2025年9月3日 大型投資案件説明会

米国航空機リース会社
Air Lease Corporation買収について
～航空機リース事業が世界最大規模に～

住友商事株式会社

Contents

01

中期経営計画2026

02

航空SBU戦略・利益計画

03

買収案件概要

04

Appendix

中期経営計画2026での位置付け

本案件は、中期経営計画2026で掲げる「強みを核とした成長」に沿った航空機リース事業への戦略的投資案件。

成長8事業の一つであるリース分野における競争力の拡張と安定収益の強化を同時に実現します。

No.1 事業群

競争優位を磨き、社会課題解決を通じた成長を実現

強みを核とした成長

競争優位のある事業をより強く
デジタル・GXで
加速する新たな成長

成長の原動力の強化

戦略軸の組織体制
人・組織のエンパワーメント

事業ポートフォリオ変革

経営資源再配分による新陳代謝の加速

■ 強みを核とした成長

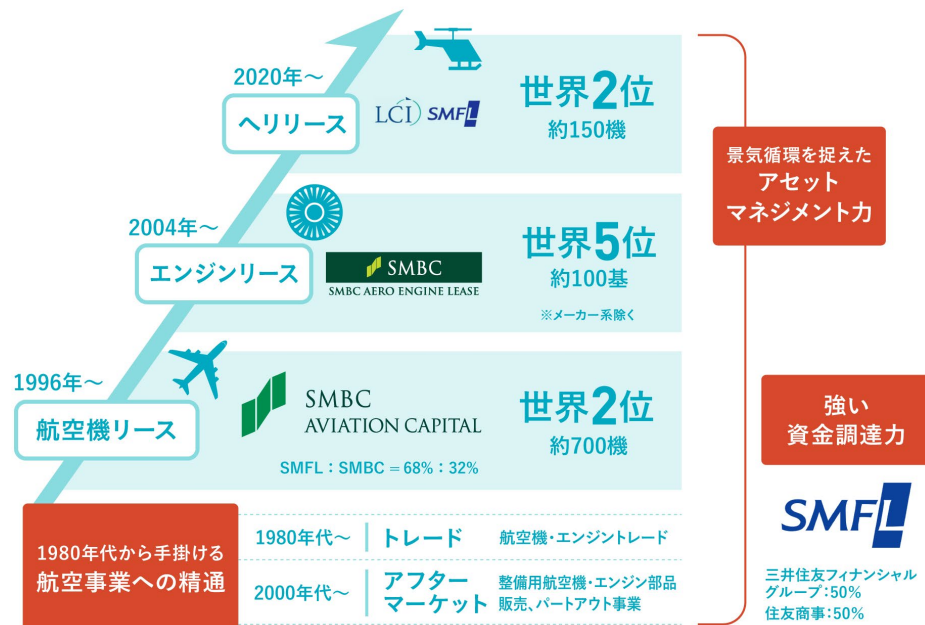


航空SBU戦略とコア・ケイパビリティ

航空SBUは、航空機・エンジン・ヘリのリース事業を軸に、国内他商社の追随を許さないNo.1ポジションを確立しています。

SMBC ACを中心とした世界有数のリース事業を展開し、資産回転型モデルの推進とサーキュラーエコノミーへの貢献を通じて、業界No.1を目指します。

SBUのコア・ケイパビリティ



- ✓ 世界第2位の規模を誇るSMBC ACによる保有・管理機材のプレゼンス
- ✓ 若齢・新世代機材中心の高流動性ポートフォリオ
- ✓ 「Buy & Sell」によるプロアクティブな資産入替
- ✓ 機関投資家との連携による管理ビジネスの拡大

サーキュラーエコノミーの構築への貢献



- ✓ 航空機・エンジン・ヘリのリース事業における資産回転型モデルの推進
- ✓ 退役機材の部品・素材の再利用促進
- ✓ Werner Aero買収によるパートアウト事業への参入
- ✓ 次世代航空機の導入による環境負荷軽減

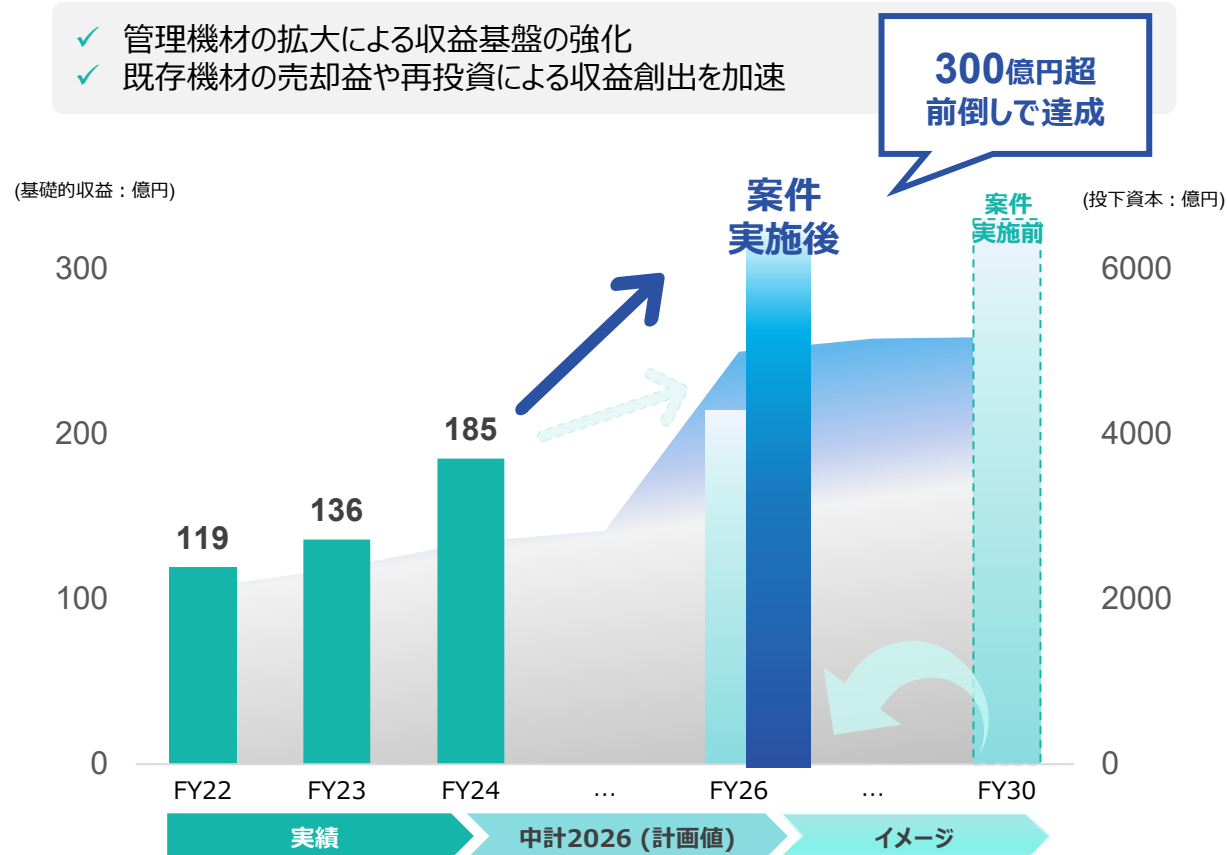
航空SBU利益推移

新世代機材を中心としたポートフォリオと優良なメーカー発注枠の獲得により、航空SBUの競争優位性を強化。

非連結化によるB/S負担の最小化を通じて、持続的な利益成長を実現します。

■利益計画

- ✓ 管理機材の拡大による収益基盤の強化
- ✓ 既存機材の売却益や再投資による収益創出を加速



■市場概観

民間航空市場は、長期的な成長が続くグローバルな拡大市場

民間航空市場は、コロナ禍以前から年率5～6%の安定成長を続けてきた。今後も2024年～2043年の世界平均旅客数は年率3.8%で増加が見込まれており、新興国市場の拡大やLCCの台頭による短距離・多頻度運航の需要増加が成長を後押ししている。

民間航空市場は、外部ショックを受けても回復力が高い市場

航空旅客数は戦争・テロ・金融危機・コロナ禍などの突発事象で一時的な停滞を経験するが、いずれも一定期間を経て回復するシクリカルな業界。2020年には業界全体で▲\$120Bilの純損失、43のエアラインが経営破綻したが、2023年には過去最高益水準まで回復しているとみられる。リース会社もリース料回収遅延や契約リストラクチャリングの影響を受けたが、エアラインと比較すると影響は限定的で、リース業は相対的に高い下方耐性を示す。

航空機需要は今後も大幅な拡大が見込まれる

グローバルの運航機体数は現在約24,000機だが、2043年には約48,000機（新造機は約42,400機）に倍増する見通し。サプライチェーン問題による新造機の製造遅延が拡大しているものの、航空機の需要拡大によりリース市場は活況が続いている。大手リース会社間でのM&Aも進み、規模拡大・競争力向上・経営効率化が加速している。

買収案件概要

当社は、SMBC Aviation Capital、Apollo、Brookfieldと共同で、
米国の大手航空機リース会社 Air Lease Corporation（ALC）の発行済全株式を取得する合併合意書を締結しました。
買収完了後、ALCは、アイルランドに設置する新会社を通じて「**Sumisho Air Lease Corporation**」として再編されます。

■買収案件概要

買収対象	Air Lease Corporation（ALC）		
取得総額	約74億米ドル（約1兆878億円*） *1米ドル=147円で換算		
出資比率		【議決権】	【経済持分】
	①住友商事	47.505 %	37.505 %
	②SMBC AC	4.99 %	24.99 %
	③Apollo	23.7525 %	18.7525 %
	④Brookfield	23.7525 %	18.7525 %

■新社名



Sumisho Air Lease Corporation

Air Lease Corporation 企業概要

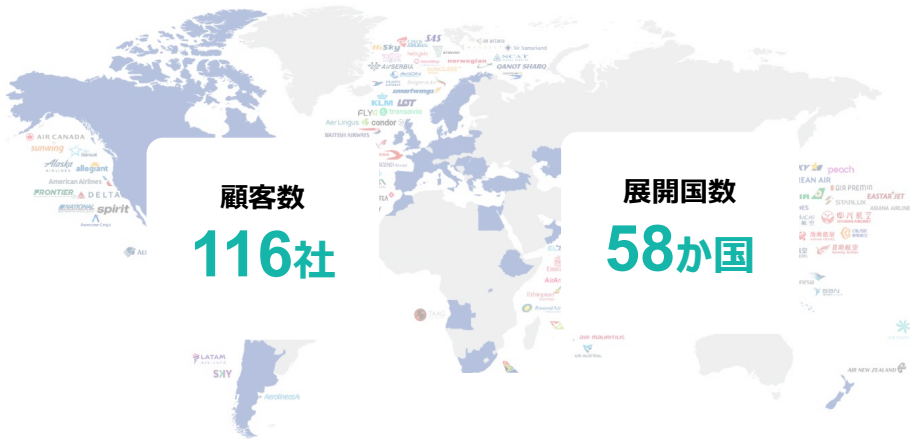
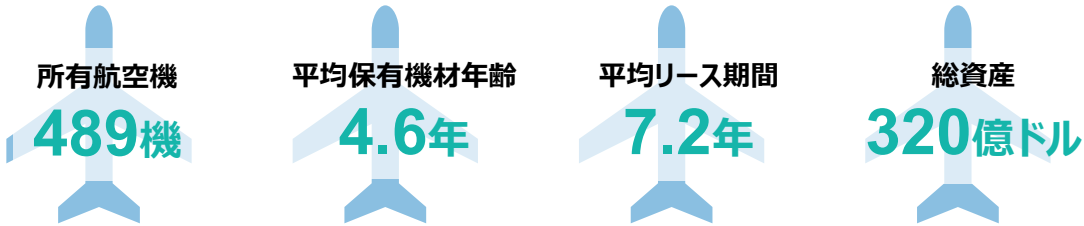
ALCは、世界58か国に展開し、116社の顧客を持つ航空機リース会社です（2024年12月末時点）。

平均保有機材年齢4.6年、平均リース期間7.2年と、若齢・新鋭機材を中心とした高流動性ポートフォリオを有しています。

■会社概要

所在地	本社 米国・ロサンゼルス 拠点 アイルランド・ダブリン 他
主な事業内容	航空機リース事業
沿革	2010年 設立 2011年 ニューヨーク証券取引所上場
従業員	約160名
2024年度実績	売上高: 約27.3億米ドル 純利益: 約 4.3億米ドル

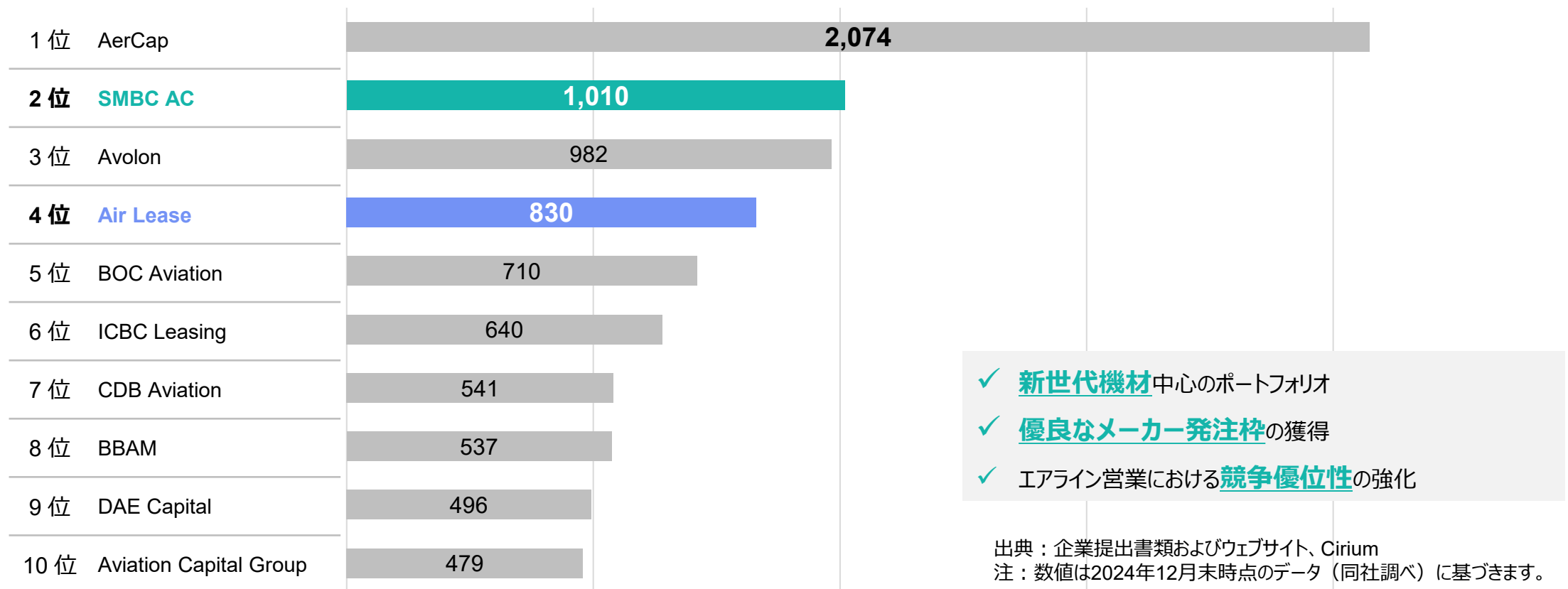
■主要指標（2024年12月末時点）



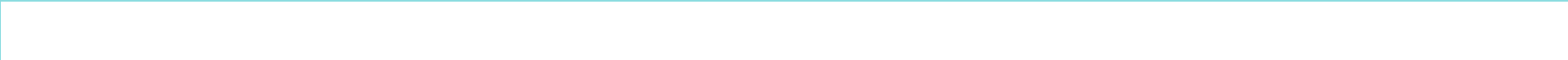
世界最大級の航空機サービサーへ

住友商事グループの航空機リース事業は、新たにグループに加わるSumisho Air LeaseとSMBC ACとの合算で、**世界最大級の規模に拡大**。
グローバル市場でのプレゼンスを一層強化します。

■主要航空機サービス事業者の保有・管理・発注残 機数（Owned, Serviced and Committed）



Appendix



マテリアリティ



安心で豊かな暮らしを実現する

安全・快適かつレジリエントな航空インフラの整備を支援

航空輸送は災害時の緊急支援、医療搬送、物資供給などにも活用される重要な社会インフラであり、その基盤を支えることで、地域社会の安心と豊かさに貢献



気候変動問題を克服する

ALCが保有する機材の多くは燃費性能に優れた最新鋭機であり、CO₂排出量の削減に寄与

航空業界の脱炭素化は国際的な課題であり、当社は引き続きSAF（持続可能な航空燃料）供給体制の構築に取り組む

当社グループは航空機リース事業を通じて、世界の航空輸送ネットワークの発展に貢献してまいります。

また、新興国や地方都市におけるアクセス性向上・物流効率化・交流活性化を促進することで
地域社会のインフラ整備に直結し、経済発展を支援してまいります。